

### 小学生がバスケットボールに挑戦

## キッズバスケットボール体験会開催

バスケットボールの楽しさを体験し興味や関心を高めてもらおうと、8月8日の「まつやま子どもの日」にえひめ国体強化選手によるキッズバスケットボール体験会が開催されました。



重本選手の話に熱心に聞く子どもたち

北条スポーツセンター体育館(大浦)で開催された体験会には、抽選で選ばれた児童40人が参加。講師は、えひめ国体強化選手で(公財)市文化・スポーツ振興財団職員の本和毅さんほか「東し愛媛」所属の4人と松山大学の学生4人が務めました。

最初は少し緊張した表情の子どもたちでしたが、準備運動を兼ねた鬼ごっこなどで講師の選手や学生らとすぐに打ち解け、ドリブルやパス、シュートなどの基礎を楽しく練習しました。また最後に行われたチーム別の試合では、真剣な表情でボールを追いかけ、シュートが決まると大歓声を上げていました。子ども

### バスケットボールを好きになってほしい



(公財)市文化・スポーツ振興財団・国体強化選手 重本 和毅さん

子どもたちが楽しんで取り組んでくれてよかったです。今回の体験会を機にバスケットボールをもっと好きになってほしいと思います。えひめ国体では優勝を目指しますので、応援よろしくお願います。

私たちは「試合も練習もとても楽しかった。バスケットボールが大好きになりました」と目を輝かせていました。

問(公財)市文化・スポーツ振興財団 ☎931900・9922065



笑顔で話す(左から)吉田選手、水谷選手、野志市長

## 男子卓球日本代表 水谷隼選手が市長を訪問しました

リオデジャネイロ五輪男子卓球シングルス銅メダリストで世界ランキング6位(8月3日現在)の水谷隼選手と世界ランキング18位(8月3日現在)の吉田雅己選手が8月10日、第8回市民スポーツフェスタのため本市を訪れ、市長を訪問しました。

野志市長にオリンピックでメダルを獲得した瞬間の気持ちを聞かれた水谷選手は「銅メダルを懸けた試合で勝った瞬間は忘れられない」と当時の気持ちを振り返りました。一方、スポーツフェスタへの意気込みを聞かれた吉田選手は「卓球のダイナミックなプレーを子どもたちに見せたい」と話しました。

問スポーツ振興課 ☎9486226・FAX 9341287、(公財)市文化・スポーツ振興財団 ☎9096154・FAX 9438730

## 写真家 浅田政志さんと一緒に写真を撮ろう！ クリエイターズワークショップ2017

写真の面白さや撮影のコツを学びながら、クリエイティブな職業への興味を抱いてもらうためのワークショップが8月3日、道後温泉周辺で開催されました。



浅田さんが撮影した子どもたち

「道後オンセナート2018」の参加アーティストの1人で写真家の浅田政志さんを講師として迎え、15人の子どもたちが参加。子どもたちは4〜5人のグループに分かれ、くじで決まった道後温泉周辺の場所で写真の構図やシチュエーションを話し合いながら決めました。

また、小道具や変装道具を使って、老人や大人、小さな子どもになりきり、それぞれのシチュエーションに合わせた個性あふれる写真を浅田さんに撮影してもらいました。



浅田さん(中央)と一緒にみんなで記念撮影

続いて子規記念博物館へ移動し、グループごとに自分たちの写真について発表。子どもたちは、撮影した写真を印刷してもらい、ワークショップの思い出の品として持ち帰りました。

問地域経済課 ☎9486710・9341844

## 「まつやま笑顔のひと声キャンペーン」 リストバンド配布が1万人を達成

愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会の「まつやま笑顔のひと声キャンペーン」

を広めるため、8月5日から実施していたリストバンドの配布が、同16日に1万人を達成しました。

1万人目にリストバンドを受け取った片山隼生さん(河野小4年)は「みきゃんのリストバンドがとてもかわいくてうれしい。リストバンドを付けて、大きな声で応援したい」と喜びを話しました。

片山さんには記念に、国体みきゃんのぬいぐるみと国体オリジナルグッズが手渡されました。問国体総務課 ☎9097844・9097850



国体みきゃんと一緒に記念撮影する片山さん

## こんにちは 松山



リオ五輪卓球日本代表選手 水谷隼さん

1989年生まれ。静岡県出身。北京五輪、ロンドン五輪、リオデジャネイロ五輪に日本代表選手として出場。リオデジャネイロ五輪の男子シングルスでは日本人初の銅メダルを獲得。

第8回市民スポーツフェスタのため本市を訪れた水谷隼さんにお聞きしました。

■松山の印象は 少し調子が上がらない時期に松山で大会があって、優勝できました。その後いろいろ大会で優勝し、オリンピックでメダルを獲得することもできたので、きっかけを与えてくれた縁のあるまちだと感じています。

■イベントに参加した感想は 3000人もイベントは初めてでした。気持ちのいいタイミングで拍手していただくなどプレーもやりやすく、松山の皆さんの「おもてなしの心」を実感できました。参加してくれた皆さんも楽しんでいただけようなので、松山に来てよかったです。

## 「おもてなしの心」実感できた

■卓球の魅力は うまくねばるほど、どんどん楽しくなることです。世界レベルのプレーを見たのは今回のイベントが初めてという人も多いと思いますので、少しでも「すごいな」と思っていただけなら、この経験を生かして卓球をがんばってほしいと思います。

■今後の目標は 3年後の2020年には東京オリンピックがあり、東京でオリンピックが開催されると決まった時から、ずっとそこで結果を出すことを目標にトレーニングしています。自分たちのホームである日本で優勝し、皆さんに金メダルを見せたいと思っています。

■市民にメッセージを 素晴らしい「おもてなし」をしていたただき本当にありがとうございます。ありがとうございました。たくさんの人たちと触れ合うことができ、幸せな時間でした。また4年後に最高の結果を携えて松山を訪れたいと思いますので、待っていてください。

### 読者プレゼント



水谷隼さんのサイン色紙を抽選で3人にプレゼント

応募先 〒790-8571 シティプロモーション推進課「水谷隼プレゼント」係 はがきに郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙の意見を書いて、10月13日(金)(必着)までにお送りください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。